日本の伝統的な楽器「箏」を演奏しよう!

1年 組 番 氏名

1. 「箏」について知ろう!

筝は、奈良時代ころに中国から伝えられた楽器で桐という木で作られています。桐は腐りにくい木で、古くからタンスや楽器に用いられてきました。木の命をいただいて作られている楽器に敬意を払う、「楽器を大切にする心」や「礼に始まり礼に終わる」という日本人が昔から大切にしてきた精神も感じながら学習していきましょう。

2. 「さくらさくら」を演奏しよう!

友達 チェック	先生 チェック	項目
		筝に向かって ななめ左 に座る。
		背筋を最後まで まっすぐ にする。
		左手は やさしく弦の上に 添えておく。
		右手の薬指は 龍角の上に 沿わせている。
		次の弦に向かって 止まりながら 弾いている。(右手)
		力強い音色で弾けている。
		押し手(弱押し) は3本の指で上から押すことができている。
		トレモロ・流し爪 が美しくできている。
		残心まで 集中力を 保てている。
		最後まで 間違えずに 演奏できた。
		なるべく 目線を上げて 演奏している。

3. 箏を演奏して感じたこと、考えたことをきとめよう!

箏	を演奏して感じた「和の精神」や日本の伝統文化のよさについてまとめてみよう。

4. 箏曲「六段の調」を鑑賞しよう!

作曲者 ① (1614~1685)	
江戸時代の始め、福島県に生まれたといわれています。大阪や江戸で三味線と箏を学び、25点の頃京都に上り、検校となりました。(目の見えない音楽家の最高の位です!)平調子という記 絃法を確立するなど、箏曲の発展にさまざまな功績を残しました。	
●「六段」とは?	
文章でいう「段落」のようなもの。この曲は、初段・二段・三段六段を進むにつれて、徐々に変化ていく変奏曲の形で書かれています。何がどのように変わっていくのか、気づいたことを書いてみよう。	し <u> </u>
だんだん(②)なることを ③ という。	ン '
5. 箏曲を鑑賞して気づいたこと、感じたことを書こう! 演奏を聴いて気づいたこと、いいなぁと思ったこと、感じた雰囲気、箏曲を聴いているとどんな気持ちがするか など	氡